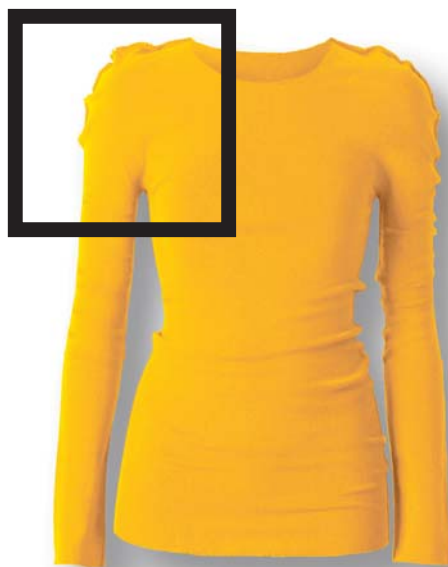


# 意図した色を現実の色にして、 日本ブランドを染め上げる。



ここにもすみだの技術

川合染工場



ISSEY MIYAKE



一枚の布に編み込まれたガイドラインをはさみで切ると服となる、「イッセイ ミヤケ」の革新的コンセプト「A-POC INSIDE (エイポック インサイド)」。このニット地を染めるのが、川合染工場の技術。複数の素材で編まれた生地を同色に染めるのは、とても難しい。何故ならば、素材により反射する光の波長が異なるからだ。しかし、デザイナーが求める色への欲求は高い。意図する色を、染料の量や温度、圧力、染色時間の設定など、染色化学のノウハウを駆使して実現する。都心の工場の機動力と環境への配慮にも寄せられる、絶大な信頼。日本を代表するブランドにも、「実はすみだ」の技術が生きている。

株式会社 イッセイ ミヤケは、すみだ地域ブランド戦略の趣旨に賛同し、本企画に協力しています。

「実は、すみだ」REPORT#.3

(株)川合染工場



sumida-brand.jp

